

査読者一覧 (五十音順, 敬称略)

池内和代	石上悦子	市原多香子	梅村美代志
大西美智恵	大森美津子	岡本亜紀	岡山加奈
越智百枝	掛田崇寛	片山陽子	木宮高代
金正貴美	越田美穂子	小林秋恵	坂本雅代
佐々木純子	佐々木睦子	清水暁美	清水裕子
鈴木千絵子	鈴木智子	祖父江育子	高野政子
谷本公重	辻京子	筒井邦彦	峠哲男
當目雅代	中尾優子	名越民江	野口純子
平井啓	平松万由子	藤井智恵子	藤井豊
舟越和代	前川泰子	松井妙子	松村恵子
松本啓子	實金栄	南妙子	森永裕美子
山居輝美	山下亜矢子	山本美輪	吉本知恵

以上、48名の先生方に感謝申し上げます。

編集後記

看護研究の成果を社会に還元する一つ的手段として、論文を世に公表する方法がある。自身のささやかな研究疑問から出発した研究が、全国の臨床ナースの課題解決に寄与し、看護の質の向上に繋がることに、多くの人は実感が湧かないかもしれない。しかし、未来の誰かが、看護の向上のために、その研究成果を参考にしていく。研究で得られた知見を論文として形に残すことが、倫理的側面からも看護の責務とされる所以である。また、過去の理論を基盤としながら進歩していく領域では、新たな知見も批判を浴び、否定され、やがて時の中に埋もれることもあるだろう。それでも我々が、多くの方々の協力のもとで取り組んだ研究を、できるだけ早く公表すること、より広く公開することは、不動の価値があると言える。

香川大学看護学雑誌は令和の幕開けとともに、これまでの公開範囲に加え、新たに、より多くの読者層を持つ学術プラットフォームに参画することとなった。大学院改革を断行し、進化し続ける香大看護学の一翼を担う存在として、本誌も発展し続けたいと思う。讃岐の丘で育まれた看護の叡智が、地域の人材育成や人々の健康福祉に還元されるよう、皆様方から一層の香川大学看護学雑誌への投稿をお願いしたい。

本年度は、原著2編、報告3編の研究論文を掲載する運びとなった。投稿者をはじめ、査読者、編集委員等、多くの皆様のご協力のお陰である。末筆ながら、本誌の作成に関与頂いた全ての皆様に御礼を申し上げ、筆を置かせて頂く。

令和2年3月

(編集委員長 渡邊久美)

香川大学看護学雑誌編集委員会

委員長	渡邊久美		
委員	森永裕美子	南妙子	
	石上悦子	鈴木麻友	
	蔵本綾	林信平	
